

緑豊かな庭園、美しくたたく建築様式、訪れた人はそこに、歴史の絵筆を観る。



緑豊かな庭園は昭和の時代、鉄道王の異名を持つ実業家根津嘉二郎の手により整えられました。茶人としても知られた根津氏自ら茶席を執り、中央にある巨石は推定約20トンの庭師が二月近くをかり運だたわれています。



喫茶風 cafe

やさらぎ

庭園に面した喫茶等で、昆布や雅し物の信筒は落書きした雰囲気を楽しんでください。



麒麟

政・財界で活躍し海運王とも呼ばれた内田信也により1919(大正9)年に建てられました。日本の伝統的な建築美を伝えるその姿には大正の浪漫が薫り立っています。

企画展 木五

様々な企画展を開催しております。

※展示が入れ替わりにより、展示の無効になる場合がございます。詳しくは施設見学者のご案内、お問い合わせください。

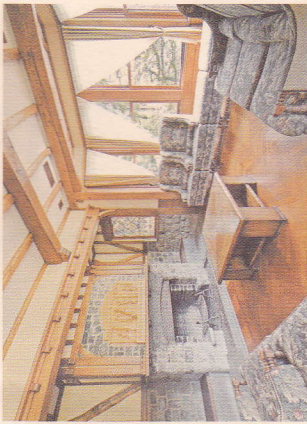


金剛

ロビー風浴室



1929(昭和4)年、根津嘉二郎により建てられた洋館では、格調高い迎賓の雰囲気がある。金剛が、かつての栄華を今に伝えています。其妻、おゆきと名乗る「ロビー風浴室」では、かつて舟橋聖三が「孔雀」で執筆し、溝口健三が監督した雪夫人絵図の撮影も行われました。



玉渓

玉姫



根津嘉二郎により1932(昭和7)年に建てられた洋館。日本の神社様子に見られる建築的特徴や中国的装飾アルファゴが彩る「玉姫」と、中世英国「フエー」様式を月、「屏」の間の装飾やフランスクリット語の装飾をあしらった「玉渓」が、独特の雰囲気を感じています。